

ドローンを用いた黒ノリ食害対策技術の実証

三重県におけるノリ食害の発生状況



養殖黒ノリを食べるクロダイ（左）とヒドリガモ（右）

- 全国の黒ノリ養殖漁場では、魚類や鳥類による食害が問題となっている。
- 三重県でも被害が確認されており、生産への影響が危惧されている。

ドローンを用いた食害対策の実証



ドローンによる追い払い
(イメージ)

- 食害対策では防除網等を使用した方法が一般的だが、コストや労力が課題であり、有効な対策の確立には至っていない。
- 養殖黒ノリを食害中の生物（クロダイやヒドリガモ）にドローンを接近させたところ、これらの生物は一定の逃避行動を示した。
- これにより、ドローンは食害対策に有効なツールであることが実証された。
- 今後、ドローンを活用した追い払い効果をより詳細に調査するとともに、食害生物の漁場への蟄集、摂食パターン等に関するデータも併せて収集することで、有効な食害対策の確立が期待される。



ドローンの接近により、逃避するクロダイ（左）とヒドリガモ（右）

※ドローンの飛行は、航空法が定める特定飛行に該当しない条件下で実施しています。



三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒510-0243 鈴鹿市白子1丁目6277-4

TEL (059)386-0163

FAX(059)386-5812